

## 鞍岳～なんってこった！～

【報 告 者】古賀

【日 時】平成 20 年 1 月 13 日 【天 候】曇り時々雪

### コースタイム

8:00 登山口 9:20～9:35 鞍岳山頂 10:40 登山口

### 報 告

熊本にいるウチに熊本の山を味わう、これが今の僕のテーマである。季節は冬。普通なら雪山のシーズンなのだが、幸か不幸か今年は暖冬。雪がないから普通のハイキングが楽しめる。しかも空気が澄んでいるので遠くまで見渡せる。ってことで、行ってきました、鞍岳へ。

朝 5:00 に起床予定だったのだが、布団を抜け出したのは 5:50。それも、昨夜テレビであった「バブルへGO！」のせいである。あまりにもツボに填ってしまい、興奮冷めやらぬ状態でなかなか寝付けなかったのだ。それでもなんとか起き出し、サッサと朝食を済ませて出発した。

鞍岳の登山コースは幾つかある。お手軽なのは、山頂駐車場なところから登るルート。これだとアツという間になってしまう。それではつまらないので、四季の里近くの登山口から登ることにした。で、こちらから登るコースは2つ。森林コースとパノラマコース。そりゃーパノラマコースから登るでしょー。そう思ったのだが・・・。四季の里を過ぎて暫く行くと二股に分かれる。左右どちらにも登山口の表示がある。パノラマ、森林と表示があればわかりやすいのだが、赤崩、伏石と具体的な名称が書かれており、どっちがパノラマなのかわからない。うーん、とりあえず赤崩の方に行ってみるか、と進路を左に取った。道は舗装されているのだがかなり細い。対向車が来たらどうしよう、不安に苛まれながら進むと、ありました！パノラマコース登山口の標識を発見。ところが。あれ？駐車スペースがない・・・。これは困った。じゃあもう少し先に行って、適当なところに停めよう。これが地獄の始まりであった。

進めど進めど駐車スペースは発見できない。それどころか舗装がなくなり、ドロドロした泥濘の道になってしまった。これで対向車が来たら・・・、そんなことを考えている時に限って嫌な予感的中する。カーブを曲がって森林が途絶えた時、開けた視界の先には白いワンボックスが・・・。このぬかるむ道をどれだけバックしなきゃいけないんだろう・・・。呆然としていると、向こうがバックし始めた。あれ？と思っていたら、パッシングして合図まで送ってくれている。もしかして向こうは離合地点

を把握しているのか？とソロソロと車を進めると、少しバックした地点で停まって道をあけてくれた。助かったー！御礼のクラクションを鳴らし、しばし進む。と、現れたのは道路工事作業中の行き止まりであった。もちろんUターン可能。ホッとここで折り返す。結局最後まで駐車スペースらしきところは見あたらなかった。うーん。こりゃーパノラマコースは、別の駐車スペースに車を停めて、登山口まで歩いてこないといかんねえと思いつつ戻ったのだが・・・。

とりあえず二股まで戻り、もう一方へと車を進めた。と、すぐに森林コース登山口を発見。かなり広めのスペースがある。よしと駐車し、準備を済ませ、登山口に設置してあるコース説明の標識を見たら。あれー？パノラマコースの登山口にPって表示されてるじゃん。どこのことだろ？もしかして？頭に浮かんだのは林道らしき小道であった。確かにあった。が、あそこに停める勇気は僕にはない。

で、コースである。ここは森林コースの登山口。パノラマコース登山口までは結構ある。じゃあってことで、森林コースで登り、帰ってくる時にパノラマコースを歩くことにした。パノラマコースから登っても、景色を見るためには何度も振り返らないといけない。下山時なら、前を向いてさえいればパノラマを楽しめるはず。

やっとのことで登山開始。エッシャーの騙し絵に出てくるような植林地帯をトコトコ登っていく。30分、40分、段々飽きてくる。歩けど歩けど景色は変わらない。前は植林、振り返っても植林。もう耐えられん！と、木立の隙間からすこーしだけ景色が見えるところで休憩。あれはどこの山かなー？小岱山かなー？等と思いながら一服。いつまでも休んでいても仕方ないので歩き始める。と、5分もしないうちに自然林の中に入り込んだ。よかったー！そう思ったのは束の間であった。そこから急登が始まる。しかも濡れた落ち葉がびっしり。こりゃー下山コースに選択しなくてよかった、滑って滑って大変だよ・・・。しかしこの安堵の気持ちは、後から覆されることになる。

馬頭観音方面への分岐を過ぎ、クマザサが多くなった頃、ヒョイと視界が開けた。乗り上げると分岐点であった。右へ行けば女岳、まっすぐ行けば山頂駐車場に下るコース、左に行けば鞍岳山頂。山頂はすぐそこだ。

山頂は絶景であった。

と、報告したかった。

確かに熊本市方面は晴れている。金峰山、二の岳三の岳がキレイに見渡せる。これでもう少し時間が早ければ、少しだけ海も見えたはずだ。が、視線を右に移すと、これから行こうとしているツームシ山の後ろには黒々とした雲が横たわっている。あの下

は雪が降っているかも。さらに右に視線を移すと阿蘇五山がデンと見える。が、これもまた雲に覆われ、五山の形もいまいちハッキリしない……。うーん……。



雲に覆われた阿蘇五山（鞍岳山頂より）

さしあたってどうしようか？ 地図を見ながらまずは一服。と、白いモノが舞い始めた。あちゃー、降ってきたか……。そのうち止むかな？と思ったのだが、次第に酷くなってきた。うーん。ツームシモヤバそうだし、阿蘇五山はよく見えないし。しかも。あれ？さっきまでキレイに見えていた金峰山が霞んでる……。お天気は西から変わるんだよね。ってことは。

撤収することにした。しかも森林コースで。これ以上ひどくなるようだったら、もと来た道を戻る方が安全である。しかもパノラマコースよりも短い。山頂駐車場に降りることも考えたが、そこまで急激に天候が変わるとも思えなかったので、この案は却下。

登ってくる時は想定外だった落ち葉との格闘。ホントよく滑る……。滑って怪我しないよう、細心の注意を払う。植林地帯に入り込むと落ち葉との格闘は終わり、あとはひたすら下るのみ。下山時に数組の登山者とすれ違った。今から登って大丈夫なのかなー？ふと心配になったのだが、雪が降ってきたことは伝えた。あとは自己責任で判断すべきことである。が、下るに連れ、段々と空が明るくなってきたりする。山頂はどんな感じだろう？そう思って振り返ってみるのだが、植林が邪魔してなーんも見えなかった。

そして登山口へ。そこで僕が目にしたモノは・・・。

「な、な、なんということをしてしまっていたのだっ！」。血の気が引いた。

登山口は車で一杯である。僕が来た時は1台の車も駐車してなかった。そこが気の緩みに繋がったのだろう。なんと僕は縦列に駐車してしまっていたのだ・・・。後から誰か来ることを考えるなら、車は道路に垂直に停めるべきである。それくらいのスペースはある。どーしてそこに思いが至らなかったのだろう・・・。各車道路に垂直に駐車する中、ポツンと縦列に止められた僕的車・・・。恥ずかしさと申し訳ない気持ちとで一杯になり、ザックをその辺に置いて、サッサと車を動かす。軽く2台駐車できる空間が出現してしまいました・・・。あう～。今後はこのようなことのないように気を付けます(深く反省)。

時計を見るとなんと10:40。あまりにも早い下山時間である。計画ではこの時間前後に鞍岳山頂に立つことになっていた。だってパノラマコースは2時間半の行程だし。でもまあ、無事に降りてきたんだし、何より何より。空は青いけどさ。

でもこの鞍岳、消化不良だなー。リベンジしなきゃ。ね。